


地域の方の生活上の 
心配や困りごとに応えていきたい…

生活支援コーディネーターを 知っていますか？



今日は、
この地域が
高齢者にとって
暮らしやすい町になるには
どうしたらよいか
考えてみませんか。

最近、杖や
歩行器を使って
歩いている高齢者を
よく見かけますね。

坂があって
買い物に出づらい
という方もいるわ
そういえば最近広場に
移動パン屋さんが
来ているね。

地域の事を
皆で話す場があって
安心できますね。

この前学校で
認知症サポーター
養成講座を受けたよ！
認知症の人が困って
いたら助けようと
思ったよ。



生活支援コーディネーターは 「住み慣れた地域で 暮らしたい気持ち」に寄り添います。

これからも元気に
暮らしていきたい



毎朝、公園で
ラジオ体操
しているよ。

花を育てることが
趣味なんだ。

スーパーで買い物。
自分で選ぶことが
楽しいね。

若い者に迷惑
かけたくないね。



このまま、
家で暮らせるのだろうか

みんなの集まっている
場へ出かけたい。
でもひとりなので
勇気が出ない。

買い物に行っても、
重いものが
持てないんだ。

ゴミ出しは、
体がきつい。

「スマートフォン」は
あるけど、メールの
使い方がわからない。



生活支援コーディネーターは 「地域を大切に思う気持ち」を 支援します。

住み慣れた地域で
暮らし続けたい



地域の公園を
清掃している
ボランティアが
いきいきしている。

道で会えば、
自然と挨拶する
まちのつながりがある。
声かけてくれるから
安心だ。

この地域のお祭りでは、
子供も大人も一緒に
盛り上がるんだ。



でも、心配なことが
増えてきたんだ

近所に住む
一人暮らしの〇さん。
最近見かけないな。

いつも同じ時間に
公園にいる高齢の方。
心配だな。

この地域は、坂が
多くて買い物が大変に
なってきたんだ。

何か、自分でもお手伝い
できることがありそうだけど、
きっかけがないな。



住み慣れた地域で、これからも暮らし続けるために… 生活支援コーディネーターは、 例えばこんな活動をしています。

大切にしている **3** つのことがあります!!

1 特技や趣味を活かす

生活支援コーディネーターを配置している(看護)小規模多機能事業所の地域交流スペースを活用した「お習字教室」。先生をお願いしているのは、書道が得意な90代の地域の方。

地域に住む人がいくつになっても、特技や趣味を活かして社会に参加できるまちづくりを目指しています。



2 独りの「不安」を和らげる

買い物の不便さを感じる地域において、地域の関係機関や団体との話し合いを重ねて、事業所の地域交流スペースでの野菜販売や、移動パン屋さん等を定期的に開始。買い物をする人達が顔なじみの関係をつくることに繋がりました。

ここに来ると誰かがいる、話ができる、高齢になっても友達ができた。そんな居場所づくりに努めています。



3 将来の「困った」に備える

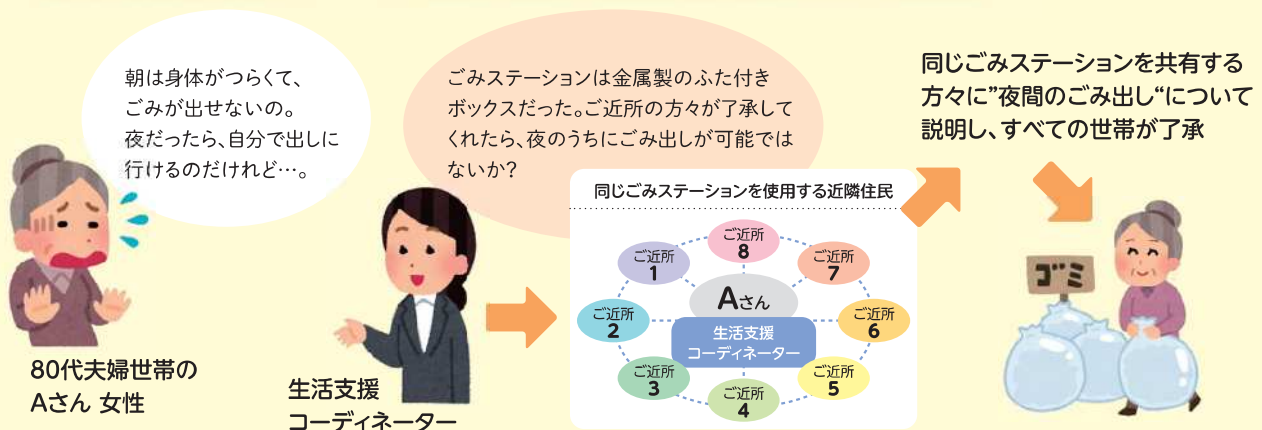
一人暮らしの高齢者や引っ越して来て日が浅い子育て世代のお父さん・お母さん等が困ったときに、「困った」と言えるご近所同士のつながりは大切です。

事業所で開催しているスマホ教室やパソコン教室等を通じて多世代が知り合うきっかけをつくり、10年先に続く顔の見える関係を築いています。

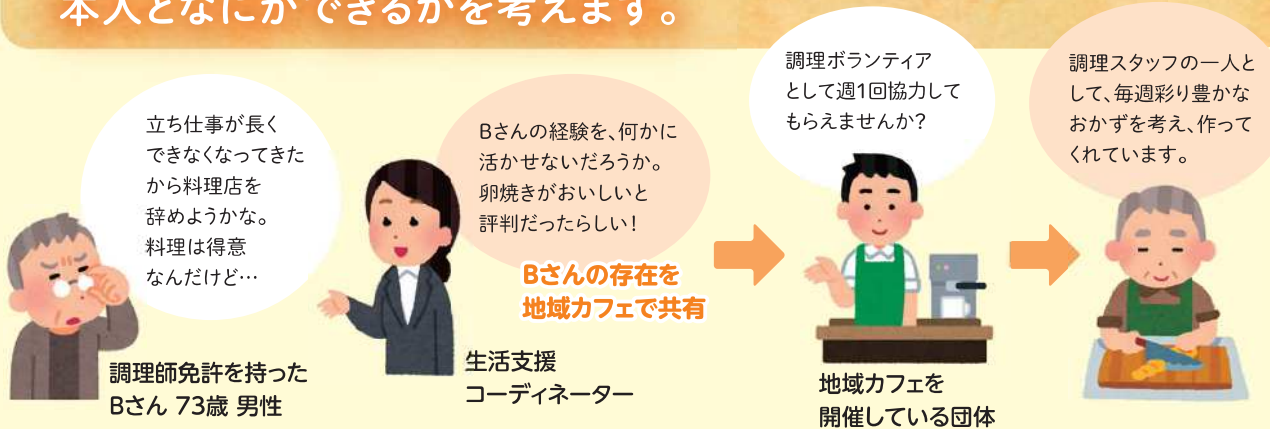


生活支援コーディネーターはこのように 地域の方々が 抱える悩み・相談に関わっています。

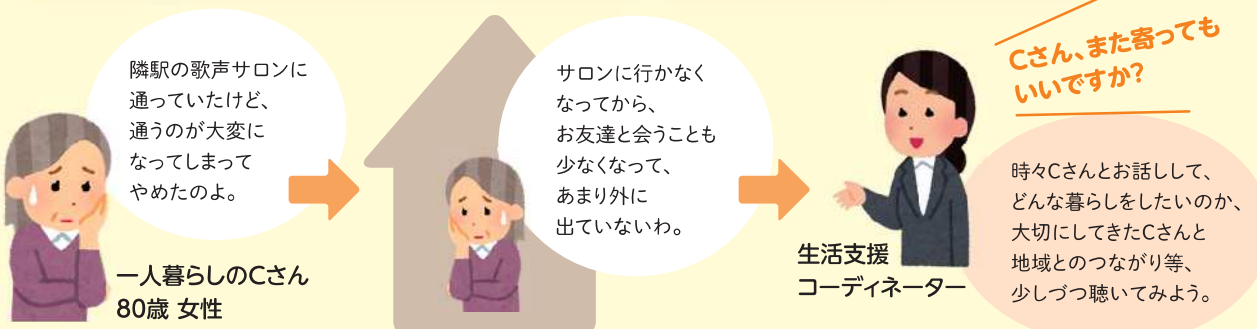
本人の持つ力を生かし、
役割や生きがいへつながらるような支援をしています。



本人となにができるかを考えます。



なじみの関係を作りながら、「思いや望み」を共有します。



地域の方からこんな声が届いています。

一人暮らし
Aさん 80歳



生活支援コーディネーターさんって初めは何をしてくれるのかよくわからなかったけど、顔見知りになったら日常生活の困りごとを親身に聴いてくれたり、イベントに誘ってくれたりして、地域に知り合いができてよかった。

ひとり暮らしで心配なご近所さんについて相談に乗ってくれました。どこに相談すればいいかわからなかったのが、安心です。

商店街で
働くBさん



生活支援コーディネーターの声です。

C事業所
コーディネーター



介護サービスにとらわれず、活動ができるようになり、地域の人と交流ができるようになりました。また、地域の担い手として、関係機関との繋がりができ、以前よりも道端で声をかけてくれる人が増えました。

生活支援コーディネーターとして、地域で活動することで、介護保険以外の生活の相談も寄せられるようになりました。
また本人の家族や、近所の方からも相談されるようになりました。

D事業所
コーディネーター



川崎市の 生活支援体制整備事業について

「生活支援コーディネーター」は平成27年の介護保険制度の改正で創設された「生活支援体制整備事業」に位置付けられた職種です。川崎市では「生活支援コーディネーター」を各区役所地域みまもり支援センターの地域ケア推進課、地域支援課職員が兼ねているとともに、市内の介護事業所（小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護事業所）に、市からの委託により配置しています。「生活支援コーディネーター」が配置されている介護事業所は、ホームページから御確認ください。

川崎市ホームページ「小地域における生活支援体制整備事業について」
<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000133762.html>



川崎市の生活支援コーディネーター配置図

川崎市各区役所地域みまもり支援センター

地域ケア 推進課

第1層生活支援コーディネーター

市内7つの行政区に配置され、
地域づくりに取り組んでいます。

地域 支援課

第2層生活支援コーディネーター

市内7つの行政区よりも
さらに細かい地域を担当し、
地域づくりに取り組んでいます。



市から委託を受けている
小規模多機能型居宅介護事業所・
看護小規模多機能型居宅介護事業所に
生活支援コーディネーターを
配置しています。

発行元

健康福祉局 地域包括ケア推進室地域保健担当
Tel 200-3718 FAX 200-3926

地域包括ケアシステム
パンフレット(6.7MB)
相談先などを紹介して
います。

